

西條茜 + 嶋春香

r

i

h

z

m

o

e

“rhizome”

Akane SAJJO + Haruka SHIMA

2017年2月18日 [土] - 3月5日 [日]

11:00 - 19:00 ・ 月曜休館

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

入場無料

“rhizome”

西條茜 + 嶋春香

Akane SAIJO + Haruka SHIMA

2017年2月18日 [土] - 3月5日 [日] 11:00-19:00・月曜休館 | 入場無料

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

この度、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAにて、西條茜と嶋春香による二人展「rhizome (リゾーム)」を開催致します。「rhizome」とは、フランスの哲学者ジル・ドゥルーズと精神科医フェリックス・ガタリの共著『千のプラトー』で展開される概念で、中心を持たず異質な線が交錯しあい、多様な流れが方向を変えて延びていく状態を指します。表現の手法やアプローチは異なるものの、共に「道具」をモチーフとし、作品制作の過程でその背景にあるものを読み解いていくことを共通点とする西條と嶋は、この「rhizome」のタイトルのもとに、既にあるものへの言及ではなく、そこから新たな解釈を与えようと試みます。

西條は、歴史上の事件や逸話などをあらゆる角度から調査し、情報をつなぎ合わせる作業から浮かび上がってくる背景を作品によって可視化しようとしてきました。今回発表する作品では、長崎でのフィールドワークを通して知ることとなった、キリシタンは蘭方医学を学ぶことができなかったという事実に着目し、

架空の“キリシタン医者”という人物像を作り上げ、その人物にまつわる生活やそれに伴う道具をインスタレーションとして表現します。

一方嶋は、資料写真に写された道具という実際には触れることのできないイメージに対し、それらを作品の題材とすることで可能になる“Touch”(=触れる、触る、手触り、関わりを持つ)という身体的行為を補いながら理解を深めようとしています。本展では、蛍光塗料を使用し、その発色の強さからイメージの立ち上がり強調した平面作品ならびに道具の「形」を抽出し、その裏表を本の構造に見立てた立体作品を発表します。

本展にて、二人の作品が一つの部屋に共存し、その共通点と相違点を交錯させつつ、作品から放たれる普遍的なものと個人的なものがさまざまに広がりながら絡み合っていく様は、まさに「rhizome」さながらとなることでしょう。



empty water
2015 | 陶土・釉薬 | W10×D14×H21cm | photo by Takenu Koroda



Touch # 揺籠・尖頭器 1
2017 | カンヴァスに蛍光塗料 | 1710×1290mm

Touch # 正倉院宝物 7
2016 | カンヴァス、ミクストメディア | 910×1277mm



Touch # 獨逸の民藝 4
2016 | パネル、ミクストメディア | 1550×130mm



Touch Indian yellow 4
2015 | パネルに油彩 | 1070×1630mm



嶋春香 Haruka SHIMA

絶妙に抑揚の効いている、これが資料写真を眺めているときに抱く印象である。全くつまらないものというわけでも、非常に興味深いわけでもない。「見る」と「診る」の琴線付近を漂い続けながら、ほどよい良い感じに「私の目を射る」。

近年、資料写真をモチーフに作品をつくっているのは、「診る」の追求といってもいい。この「診る」というのは、視覚的なものと医者や診察時にも度々見受けられる「触診」という行為、両方の意味を指している。カンヴァスに絵具を置いていく、絵と自分の身体的な接触という意味でも興味深い。資料写真が持っている元々の意味性（道具の場合、用途や機能、文化的背景など）を色や形態、質感から再考し、その時どのようなリアリティーをもって目の前に立ち現れてくるのか。今はそれがみてみたい。

西條茜 Akane SAJIJO



sunya
2014 | 釉薬 | W52×D52×H15cm | photo by Takem Kuroda



my buddy
2015 | 陶土、釉薬 | W15×D3×H3cm
photo by Takem Kuroda



死んだ人の爪の森 (石器製造事件より)
2016 | 陶土、ミクストメディア

考古学、歴史学、鉱物学的な視点からのリサーチやフィールドワークをベースにしながら、素材として主に陶芸を扱う。

実際の歴史上の事件や逸話などを題材に、その中に見えてくる特定の文化や時代によって作り上げられた価値観、人間の感情、当時から現在に至るまでの時の流れのようなものの可視化を試みる。また、短時間ながら高温の窯の中で物質を変化させる「焼成」という陶芸のプロセスの中に、鉱物や出土品が長い年月をかけて物質が変化していくプロセスとの共通点を見だし、時間の短縮、可視化といった”物質が持つ時間に対するアプローチ”を陶芸を通して問う。

オープニング
レセプション：
2017年
2月18日〔土〕
16:00-

※京都市立芸術大学
美術学部同窓会展
「1980年代再考のための
アーカイバル・プラクティス」
(同時開催)との
合同レセプション

嶋 春香
Haruka SHIMA

- 1989 北海道生まれ
2012 京都造形芸術大学 美術工芸学科
洋画コース 卒業
2014 京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程
絵画専攻 油画 修了

個展歴

- 2016 MEET/MEAT (Gallery PARC/京都)
2015 Half-length
(京都芸術廉价中心・Artothèque Gallery/京都)
2013 Portrait (京都市立芸術大学 小ギャラリー/京都)

主なグループ展歴

- 2017 オブジェダール 未来の途中
(京町屋キャンパス ににぎ/京都)
2015 93. 未来の途中の先を夢見る。/
93. Dream Ahead of "on the way to the future"
(ARTZONE/京都)
京都銀行美術研究支援制度15周年記念展覧会
"京銀コレクションの15年"
(京都銀行 金融大学校 桂川キャンパス/京都)
Studio Exhivisit 2015 12スタジオと12の展覧会
"punto open studio" (共同スタジオ punto/京都)
Sign of Happiness (Antenna Media/京都)
これからの、未来の途中
—美術・工芸・デザインの最新 11 人展
(京都工芸繊維大学 美術工芸資料館/京都)
2014 KUAD graduates under 30 selected
(京都造形芸術大学 ギャラリー・オーブ/京都)
アートアワードトーキー 丸の内 2014
(行幸地下ギャラリー/東京)
京都市立芸術大学作品展
(京都市立芸術大学 アトリエ棟 4F/京都)
作品中！ 2014 (galerie16/京都)
2013 AUTUMN HURRICANE
(京都市立芸術大学 小ギャラリー・大ギャラリー/京都)
ココデミル (3F PROJECT ROOM/京都)
Reunion 0.1 (京都造形芸術大学 Pr PROJECTS room/京都)
2012 RADICAL SHOW 2012 (渋谷ヒカリエB/東京)
PHANTASMA—ファンタズマ (Antenna Media/京都)
アートビーポーマッピン
(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA/京都)
2011 Hers' 2011 (同時代ギャラリー/京都)
三列シート (MU 東心斎橋画廊/大阪)
浮き出る、残像、見られて、とりもつ
(京都造形芸術大学 gallery B37/京都)
らくらくフェスティバル
(京都造形芸術大学 GALLERY RAKU/京都)

受賞歴等

- 2014 京都市立芸術大学 作品展 大学院市長賞
2013 京都銀行美術支援制度 2013年度購入作品選抜
2012 京都造形芸術大学 卒業制作展 学科賞

西條 茜
Akane SAJJO

- 1989 兵庫県生まれ
2012 京都市立芸術大学 美術学部工芸科 陶磁器専攻 卒業
2013 ロンドン ロイヤルカレッジオブアート 交換留学
2014 京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程
工芸専攻 陶磁器 修了

個展歴

- 2016 ほ伏する山々 (同時代ギャラリー Gallery shop collage/京都)
2015 石の態度 (アトスペース虹/京都)
trace the ten (同時代ギャラリー Gallery shop collage/京都)
Hollow Tool Box (ギャラリーみやがわ/京都)

主なグループ展歴

- 2017 Kyoto Art for Tomorrow—京都府新鋭選抜展2017
(京都文化博物館/京都)
2016 六甲ミーツアート芸術散歩 2016
(六甲高山植物園/兵庫)
陶芸 tomorrow 6 大学推薦 若手の饗宴
(ギャラリーマロニエ/京都)
2015 Sign of Happiness (Antenna Media/京都)
2014 Yumiko Ono Akane Saijo Exhibition (Sakura Gallery/東京)
2013 DOMO (Hackney gallery | Royal College of Art / London)

受賞歴等

- 2016 六甲ミーツアート芸術散歩 2016 彫刻の森美術館賞
2015 blue bed 作品設置:新建築社オフィス (西沢立衛設計)
2014 月のアート審査員優秀賞
2012 京都銀行美術支援制度 2012 年度購入作品選抜
2011 京都市立芸術大学作品展 富本賞

主催：京都市立芸術大学

会場アクセス：

〒604-0052
京都市中京区押油小路町 238-1
TEL: 075-253-1509
<http://gallery.kcuu.ac.jp>

地下鉄：「二条城前」駅 (2番出口)

南東へ徒歩約3分

バス：「堀川御池」バス停下車すぐ

